

令和5年度 一般会計決算附属資料

議会事務局 主要な施策の成果

予算科目	款	01 議会費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	議会事務局
	項	01 議会費	2,075千円		2,137千円	62千円	97.0 %		
	目	01 議会費					(参考)当初予算額	課	議会総務課
	事業	03 議会広報事業					2,748千円		
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）	主な財源	諸収入 京都府市町村職員等共同研修助成金 21千円					
目的		市議会の活動状況、議案等の審議の経過及び結果などを市民に分かりやすく周知するため、広報紙を発行する。							
主要な事務・事業の概要	○議会だより発行経費			1,993千円					
	・印刷製本費								
	議会だより								
	第76号 （ 5月発行 24ページ）× 20,800部								
	第77号 （ 8月発行 16ページ）× 20,800部								
第78号 （ 11月発行 20ページ）× 20,800部									
第79号 （ 2月発行 20ページ）× 20,800部									
○広報編集委員会参集費用弁償			47千円						
・委員8人 × 車賃25円/km × 6日 × 4定例会									
○広報編集委員研修会参加経費（費用弁償、有料道路通行料）			27千円						
・市町村議会広報研修会（8/23開催 京都市、委員8人）									
○消耗品費（事務用品）			8千円						
					成果・課題	○市議会の活動状況だけではなく、より一層議会と市政に対する理解をしていただくための紙面づくりに取り組み、議案等の審議内容及び結果等を周知した。 ○発行経費が高騰しているため、レイアウトなど更なる工夫により、無駄のない紙面づくりをより一層意識していく必要がある。			

予算科目	款	01 議会費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	議会事務局
	項	01 議会費	4,685千円		5,254千円	569千円	89.1 %		
	目	01 議会費					(参考)当初予算額	課	議会総務課
	事業	04 議員活動・議会渉外活動事業					8,784千円		
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）	主な財源	諸収入 京都市市町村職員等共同研修助成金 18千円					
目的	市民の多様なニーズをくみあげながら、議会の政策形成機能及び監視機能の充実を図るため、研修及び調査研究により議員の資質及び能力の向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	○費用弁償等 1,459千円 ・本会議等（22回）、委員会等参集分（151回） 736千円 ・議長会等会議出席費用 723千円 ○行政視察（常任委員会、特別委員会） 1,579千円 ・費用弁償 1,277千円 ・視察先土産、資料代 36千円 ・バス借上料、バス運転委託料、燃料費、有料道路通行料 240千円 ・旅行取扱手数料 26千円 ＜参考＞総務常任委員会 長崎県対馬市（海岸漂着物処理状況） 産業建設常任委員会 佐賀県みやき町（地域通貨）他2か所 庁舎整備等特別委員会 兵庫県西脇市（市民交流施設）他1か所 議会改革特別委員会 静岡県掛川市（議会改革）他1か所				○政策討論会議（8/22：議会改革シンポジウムを開催） 77千円 ・講師等謝金、費用弁償（講師1人、パネリスト5人） ○議会報告会（4回）（市民と議会の懇談会：12会場、240人） 98千円 ・費用弁償 34千円 ・会場借上料（ふれあいセンター使用料） 3千円 ・消耗品費、食糧費 37千円 ・保育スタッフ謝金 24千円 ○参考人等実費弁償（6人） 17千円 ○議長交際費 60千円 ○政務活動費交付金 978千円 ・4会派、4議員				
	○議員研修会 417千円 ・8/4「質問力の向上から政策提言へ」 50千円 ・10/25「地方分権時代にふさわしい自治体議会の在り方」 27千円 ・10/26「市町村議会委員長研修会」 14千円 ・10/31-11/1「木津川市議会交流研修会」 297千円 ・1/23「議員の政策提案能力を高めるために」 29千円				成果・課題	○視察研修により、先進地事例を調査研究し、政策提言へとつなげることができた。 ○市民と議会の懇談会では、多くの市民から様々な意見を聞くことができたが、今後も開催方法や運営方法について更なる検討が必要である。			

予算科目	款	01 議会費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	議会事務局
	項	01 議会費	11,408千円		11,737千円	329千円	97.1 %		
	目	01 議会費					(参考)当初予算額	議会総務課	
	事業	50 議会一般経費							13,898千円
基本計画		30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	諸収入 京都府市町村職員等共同研修助成金 16千円				
目的	本会議及び委員会等の審議の経過を記録するため、会議録を調整し公開するとともに、迅速な情報公開を行うため映像配信を行う。 議会に対して、市民の関心が高まるように、「一般質問のお知らせ」を発行し積極的に情報発信する。								
主要な事務・事業の概要	○会議録作成委託料 3,579千円				○文書共有・会議システムソフトウェア使用料 66千円				
	・ 定例会（30部×1回）臨時会（30部×2回） 1,381千円				○消耗品費等 613千円				
	・ 委員会等（90回、総時間 8,650分） 2,198千円				・ 書籍、事務消耗品、新聞購読料、名刺印刷、修繕料 等				
	○職員旅費等 706千円				○負担金 717千円				
	・ 行政視察随行、旅行取扱手数料 247千円				・ 全国市議会議長会 等 614千円				
	・ 市議会議長会等随行及び会議 381千円				・ 議員公務災害補償組合負担金 92千円				
	・ 研修会（JIAMIほか） 78千円				・ 各種研修負担金 11千円				
	○一般質問のお知らせ発行 352千円								
	（16,600枚×2回、16,250枚×1回、16,200枚×1回）								
	・ 印刷用紙代 128千円								
・ 新聞折込手数料 224千円									
○映像配信システム 3,190千円									
・ 委託料（映像編集、映像配信・保守点検） 3,124千円									
・ 専用回線使用料 66千円									
○会議録検索システム委託料 2,185千円									
				成果・課題	○市民に身近な議会となるようケーブルテレビやインターネットなどによる映像配信や録画配信の視聴環境に継続的に取り組んだ。 ○本会議及び委員会等の会議録の公開、議会ホームページでの情報提供、「一般質問のお知らせ」の新聞折込みなど、積極的な情報発信により市民に開かれた議会となるよう努めた。				